

国際基督教大学大学院

アーツ・サイエンス研究科
新プログラム案内〈ICU 5年プログラム対応〉

外交・国際公務員 養成プログラム

世界の課題に立ち向かう地球市民として。
外交官や国際公務員として働くための道筋を得る。

Graduate School of Arts and Sciences

Diplomatic and International Public Service Program

Starts in
AY **2019**



Theme

外交や国際機関等でプロフェッショナルとして働くうえで重要な知識や思考能力、課題解決力を養成します。

ICUのリベラルアーツの上にごそ構築できた
理論と実践、そして現実を結ぶプログラムです。

ヘルマン サルトン SALTON, Herman

国際基督教大学 准教授／外交・国際公務員養成プログラム委員長
公共政策・社会研究専攻 政治・国際研究／平和研究専修担当。
ウェールズ・アベリストウィス大学 (International Politics) 博士課程修了 (Ph.D)。

Profile

トレント大学(イタリア)、オークランド大学(ニュージーランド)、ウェールズ大学(イギリス)、オックスフォード大学(イギリス)で学ぶ。国際法博士、国際関係博士、Visiting scholar(バリ)、Icelandic Human Rights Centre(アイスランド)、ニューヨーク国連本部・国連事務次長室におけるアソシエイト職を歴任し、2018年にICUに着任。国連システム学術評議会東京連絡事務所副ディレクター、日本国際平和構築協会事務局次長。

外交・国際機関を取りまく状況は激しく変化しており、国際公務員・外交官に必要とされるスキルも大きく変わっています。言語能力はもとより世界中で起きている様々な問題に対する知識、特に紛争の調停や解決に関わる経済的・社会的・政治的な問題にも精通していることが必須で、これをどれだけ強く自覚できるかがこの分野のプロの資質とも言えるでしょう。

ここに始まる「外交・国際公務員養成プログラム」は、国際的なレベルで外交分野におけるキャリアを志す学生に適しています。ICUでは以前よりかなりの数の卒業生を国際機関に輩出しています。クリティカル・シンキングや世界市民としての生き方、国際問題や異文化に対する理解、言語能力など、培ってきたものとの親和性が高い分野と言えるでしょう。新プログラムはさらに実践的な要素を盛り込み、専門知識・論理の基礎と実践的な経験をむすびつけることを目指します。例えば、外交官や国連職員から直接学ぶ講義では、現実の世界中で起きている問題にどう対応するか、論理面・実践面の両方から学びます。また、ニューヨーク国連本部を訪れて国連職員と会い直接レクチャーをしてもらおう授業など、外交官・国際公務員への道が見えてくる、得がたい機会にあふれています。

世界への思いを実践する道、国際公務員を
目指してもらえることは私の喜びでもあります。

森田 宏子 MORITA, Hiroko

国際基督教大学 講師／外交・国際公務員養成プログラムアドバイザー
公共政策・社会研究専攻 政治・国際研究専修担当。国際基督教大学教養学部卒業(学士)、デンバー大学大学院国際関係学修士課程修了(修士)。

Profile

国連本部でインターンシップ、JPOとしてハイチUNDP事務所勤務。国連開発のための科学技術諮問委員会書記、持続可能な開発部部長室長、国家別情報分析課長、Natural Resources Forum 専門雑誌編集長、小島嶼国課長などを歴任。リオ+20や小島嶼国国際会議交渉支援、国連契約委員会及び人事採用・昇進委員会委員、国連邦人職員会会長、小島嶼国プロジェクト・アドバイザー、福岡女子学院大学客員講師。国連システム元国際公務員日本協会・SGHタスクフォース会員。

私の場合、ICUの学びのなかで、国連を目指すきっかけとなった素晴らしい教授との出会いがあり、同時通訳や異文化間・対人関係コミュニケーションスキルを学びながら、徐々に国際関係・開発・国際機構や国際法分野が面白くなってきて、国連キャリアを視野に大学院へ進学しました。

このように多分野にまたがる勉強や研究ができるのもICUの強みだと思います。短期の留学経験、ICUを通じて募集されたいくつかの通訳や国際会議企画関係のアルバイトなど、学生時代のすべての経験は国際公務員に求められる能力の基礎となったと感じます。

国連システム内でも多くのICU卒の邦人職員に出会いましたが、皆責任感が強く、柔軟性があり、努力と人徳を磨いてきた人たちでしたし、お互い絆を感じました。ICUで学んだことをさらに実践に活用し、世界平和や持続可能な開発や人権などの国連の大きな使命に貢献できるという手応えが感じられ、男女平等にワーク・ライフ・バランスも得られるのが国際公務員を目指す意義です。一人でも多くの可能性豊かな私の母校の学生がこのプログラムによって、ダイナミックでやり甲斐のある国際公務員のキャリアを目指していただけたらこの上ない喜びです。

より実践的なキャリア開発のために

実務を知る

講義や実習内容に関しては、外交や国連・国際機関で活躍した経験のあるICU卒業生を含む実務家によるレクチャーや、国連本部におけるスタディツアーを含む授業等、理論と現場を結ぶ学びの機会を提供します。将来的に国際機関で働くための具体的な知識や経験を得ることが可能です。

インターンシップ

ICUは経済協力開発機構(OECD)とインターンシップ協定を締結しており、学内選考を実施。国際機関における実務的な体験の機会提供をサポートしています。今後とも様々な機会を創出し、キャリア開発の可能性を広げます。

キャリア実現にあたって

国連をはじめとする国際機関では、採用にあたり関連する学位(多くは修士号以上)、職務経験(およそ2年以上)、語学力(英語またはフランス語で職務遂行可能レベル)といった経験や能力が求められています。本プログラムでは、採用試験に関して踏み込んだ指導が得られます。

Messages from Career Diplomats and International Public Servants



ICU卒業生

長谷川 祐弘さん

博士前期課程 1968年6月修了
元国連事務総長特別代表、日本ユネスコ協会連盟 評議員、
国連システム学術評議会 東京事務所長、
日本国際連合協会 学術交流担当 理事、
広島平和構築人材育成センター評議会 委員長、
特定非営利活動法人 日本国際平和構築協会 理事長

若い人々に期待しています。

1968年にICUを卒業、その後37年間にわたり国連職員として過ごしました。最初はUNDPでニューヨーク、ネパール、インドネシア、南太平洋で開発協力事業に携わり、その後カンボジア、ソマリア、ルワンダ、東ティモールで平和維持・平和構築活動に貢献してきました。

近年、急速なグローバル化に伴い個人と国家社会の信条と価値観の葛藤が起こると、国内での指導者の権力闘争と国家間の覇権争いが激化してきました。そして指導者と市民の期待感と思考方法が急速に変化するに当たって、国家社会と国際社会の秩序を保つ普遍的な理念や人間の行動規範が崩れ、再構築されることが急務となってきました。聡明な学生たちに、国連などの国際機関に入り世界平和と秩序を再構築し、その維持に貢献していただくことを願っております。



ICU卒業生

藤野 あゆみさん

博士前期課程 1981年3月修了
国連工業開発機関 (UNIDO)
事務局長室 戦略計画調整部長

ICUでの学びは必ず活かれます。

四半世紀以上にわたり、開発援助プロジェクトを提案施行し、フィールドに駐在し、今は本部で組織全体の戦略を調整するという、異なった仕事を経験してきました。

昨今の国際状況の変化や組織改革の流れを受け、国連は持続可能な開発アジェンダを、より効果的に効率的に推進しようとしています。その中で、人権や気候変動等の人類共通の課題に取り組むのは、様々な価値観を持った人々との長い共同作業です。大切なことは、学際的な知見と専門性を併せ持つこと、一国の枠にとらわれず様々な視点から事象を見る素養を身に着けること。これがICUで私が学んだことです。

主な教員



吉川 元偉 特別招聘教授
YOSHIKAWA, Motohide

公共政策・社会研究専攻 政治・国際研究専修担当。国際基督教大学教養学部社会科学部卒業。外務省に入省後、アルゼンチン、英国、フランス、タイ等での勤務を経て、国連日本政府代表部政治担当大使、経済協力開発機構 (OECD) 代表部大使、OECD執行委員会議長等を歴任。13年9月に国際連合日本政府代表部特命全権大使に就任。本プログラム指定科目である「国際関係と外交」を担当。

ヘルマン サルトン 准教授
SALTON, Herman

公共政策・社会研究専攻 政治・国際研究／平和研究専修担当。ウェールズ・アベリストウィス大学 (International Politics) 博士課程修了 (Ph.D.)。外交、国連事務局、リーダーシップ、国際倫理、アフリカの歴史や国際関係を中心に、国際関係、国連、国際法、国際機関を主な研究指導分野とする。本プログラム指定科目である「国際政治と外交」を担当。

森田 宏子 講師
MORITA, Hiroko

公共政策・社会研究専攻 政治・国際研究専修担当。デンバー大学大学院国際関係学修士課程修了 (修士)。JPOとしてのUNDPにおける勤務を始め、国連本部における持続可能な開発部部長室長、小島嶼国課長、リオ+20、サモア小島嶼国会議事務局等を歴任。国連における35年のキャリアから、本プログラムにおけるアドバイザーに着任。本プログラム指定科目である「国連と持続可能な開発」を担当。

ICU卒業生



本田 誠さん

博士前期課程 1992年3月修了
外務省総合外交政策局 国際機関人事センター室長

プログラム開始を歓迎します。

外務省ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー (JPO) 派遣制度の担当者として、「外交・国際公務員養成プログラム」の開始を歓迎いたします。

外務省では、1974年以来約1,700名の若手日本人をJPOとして国際機関に派遣して参りましたが、国連関係機関で働く日本人国際公務員の約46.5% (2017年末) がJPO出身者です。現在も約150名の日本人JPOを派遣中ですが、JPO派遣制度を通じ、彼らが国際機関で正規ポストに就くことを大いに期待しています。当センターとして、国際公務員養成に携わるすべてのステークホルダーと緊密に協働していくことを楽しみにしています。



ICU卒業生

沖本 慶一郎さん

教養学部 2002年3月卒業
国際連合事務局 法務部 法務官

専門分野を持つことも忘れずに。

国際機関で働く事の醍醐味は国益ではなく、普遍的な理念を追求するところだと思います。中でも国連は「国際の平和と安全の維持」、「人権の尊重」、「経済、社会、文化、人道的な国際問題の解決」を主な目的としていますが、この様な理念を実現するために平和維持活動、紛争の調停、人権侵害の調査、人道援助などの具体的な行動をとります。

国際法は国連のあらゆる活動の基盤となっており、専門とするかしないかに関わらず、国際法に触れておくことを強くお勧めします。国際法を専門とする道もあるので、そちらも考えてみてはいかがでしょうか。

齋藤 潤 客員教授
SAITO, Jun

公共政策・社会研究専攻 公共経済学専修担当。オックスフォード大学大学院経済学修士課程修了 (M.Phil.)。内閣府政策統括官、国際通貨基金 (IMF) 事務局エコノミスト等を歴任。政府機関や国際機関における実務経験より、経済政策を主な研究指導分野とする。本プログラム指定科目である「経済政策」を担当。

毛利 勝彦 教授
MORI, Katsuhiko

公共政策・社会研究専攻 政治・国際研究専修担当。カールトン大学大学院政治科学研究科博士課程修了 (Ph.D.)。グローバル・ガバナンス論、地球環境と持続可能な開発を中心とした、国際関係学、政治学を主な研究指導分野とする。本プログラム指定科目である「平和とサステナビリティ」を担当。

想定される将来のキャリア

- 国際連合システムをはじめとした、国際機関における職員 (国連本部、UNDP、UNHCR、FAO、世界銀行、OECD…)
- 外交分野 ●NGO ●NPO ●日本政府、行政 ●民間企業 など

外交・国際公務員養成プログラム New York Office

協力

Japan ICU Foundation 日本国際基督教大学財団
475 Riverside Drive, Suite 439
New York, NY 10115

プログラム概要 Program Overview

対象者 Eligible Students

ICUに在学中の学生のうち、

①5年プログラム候補生 ②大学院生(5年プログラム生、博士前期課程、および博士後期課程) ※いずれも本科生とする

①Undergraduate students in the 5-year program at ICU ②Graduate students including the 5-year program(M.A. or Ph.D. Program) at ICU *Non-degree students are not eligible.

修了要件 Requirements of the Program

I. 学位要件 Degree Requirement

国際基督教大学院 アーツ・サイエンス研究科における、修士号の取得
※博士後期課程に在籍する修士号保持者は本要件免除とする。

Successful completion of the Master's degree program at ICU's Graduate School of Arts and Sciences

*Exempt for the master's degree holders enrolled in ICU's Doctoral Course.

II. 科目要件 Course Requirements

1. 所定の科目リストから、9科目(18単位)の履修

2. 上記9科目のGPA3.50以上

1. Completion of 9 courses (18 credits) from the designated course list

2. GPA3.50 or above in the designated 9 courses

III. その他要件 Other Requirements

1. 英語運用能力(英語の非母語話者): TOEFL100またはIELTS7.5以上

2. 国連公用語または定量分析科目の履修: 以下のいずれかを選択

①(英語の非母語話者)ICUの「世界の言語」または本プログラムの認める他機関における、英語以外の1つ以上の国連公用語*の3学期相当以上の科目の履修修了

*英語の母語話者は2つ以上とする。

※特にフランス語またはスペイン語を薦める。

国連公用語…アラビア語、英語、スペイン語、中国語(普通話)、フランス語、ロシア語

②統計学等、定量分析を扱う科目の履修

※特に経済、金融分野を目指す学生に薦める。

※科目要件にリストされているものをこれに充てる場合には、科目要件の枠外とする。

(QALL401の履修・単位取得をもってこの要件を満たすことを認める。)

3. 国連・国際機関、政府機関、大使館、国際NGO等、本プログラムの認める外交・国際公務員に関連する機関における、インターンシップへの参加。期間は1か月～3か月が望ましい。

(実施地域、フルタイム/パートタイムを問わない。)

(QALL402またはQPPI524の履修・単位取得をもってこの要件を満たすことを認める。)

1. English language competence for non-native speakers of English: TOEFL iBT 100 or above/ IELTS 7.5 or above

2. UN Official language or quantitative analytical competence (Choose either ① or ② from below)

①UN Official language

- For non-native speakers of English: Completion of one of the UN official language courses (except English) at the foundation level taken from ICU's World Language courses (3 terms) or other institutions with equivalent terms

- For native speakers of English: Completion of two of the UN official language courses (except English) at the foundation level taken from ICU's World Language courses (3 terms) and other institutions with equivalent terms

UN Official Languages…Arabic, Chinese, English, French, Russian, and Spanish

*French or Spanish are strongly recommended.

②Completion of credit-level university courses on quantitative analytical and statistical skills

*If it is going to be one of the courses listed in "2. Course Requirement", it would be treated outside of the course requirement.

(QALL401 can be counted for this requirement)

*Strongly recommended for finance and economics fields.

3. Participation of an internship hosted by institutions related to diplomatic and international public service, including governmental, intergovernmental, and international non-governmental organizations. (In any region/country. Both full time and part time are counted)

(QALL402 and QPPI524 can be counted for this requirement.)

修了までのステップ Steps for the Completion of this Program

指定のコース Required Courses

以下の科目リストの中から、基礎2科目、専門7科目を履修します。

Completion of 9 courses in total (2 from Foundation and 7 from Specialization) from the following course list.

政治・国際研究分野 Politics and International Studies Area

基礎 Foundation

QPF405 国際法 I
International Law I

QPF407 国際関係と外交
International Relations and Diplomacy

QPF419 公共政策論
Public Policy

専門 Specialization

QPPI508 国際政治と外交
International Politics and Diplomacy

QPPI515 法と平和
Law and Peace

QPPI516 国際機構論
International Organization

QPPI518 国際政治経済研究
Research in International Political Economy

QPPI523 国連と持続可能な開発
The United Nations and Sustainable Development

QPPI524 国際インターンシップ
International Internship

公共経済学分野 Public Economics Area

基礎 Foundation

QPF411 マクロ経済学
Macroeconomics

QPF412 ミクロ経済学
Microeconomics

QPF424 計量経済分析
Economic Analysis

専門 Specialization

QPPE507 国際金融政策
International Finance Policy

QPPE509 国際貿易政策
International Trade Policy

QPPE512 経済政策
Economic Policy

QPPE604 国際開発政策
International Development Policy

平和研究分野 Peace Studies Area

基礎 Foundation

QPF436 開発・紛争・平和構築
Development, Conflict and Peacebuilding

専門 Specialization

QPPS501 グローバル・イシュー
Global Issues

QPPS502 安全保障・紛争解決
Security and Conflict Resolution

QPPS601 平和とサステナビリティ
Peace and Sustainability

モデルカリキュラム／一例：5年プログラム生(2020年3月に学部を卒業、2021年3月に修士号を取得)の場合

Example: 5-year Program students (graduating with BA in March, 2020 and MA in March, 2021)

| | 学部 | 大学院 |
|-----|---|---|
| | 1～3年 | 4年 |
| | 学部生 | 5年プログラム候補者(大学院科目履修) |
| | | 5年プログラム生(大学院科目履修) |
| 履修 | 自分の興味のある授業と外交・国際公務員養成プログラムに関連の深い授業を履修し、基礎的な知識の土台を養成 | 「国際関係と外交」 「開発・紛争・平和構築」 「国際機構論」 「国連と持続可能な開発」 NY国連本部への研修へ参加 |
| | | 「国際政治と外交」 「国際開発政策」 「安全保障・紛争解決」 「平和とサステナビリティ」 「国際インターンシップ」 実践したインターンシップを単位認定※ |
| 語学 | リベラルアーツ英語プログラムおよび英語以外の外国語(国連公用語)の勉強 例: フランス語 | |
| 実践 | 国際機関や在外大使館、領事館、その他国際NGO等におけるインターンシップ参加(夏休み等を利用) | |
| その他 | ICUや外部機関実施のキャリアセミナーへ参加 | |

※認定要件はシラバスに従います。 ※開講学期は変更となる可能性があります。 Offered terms are subject to change.

